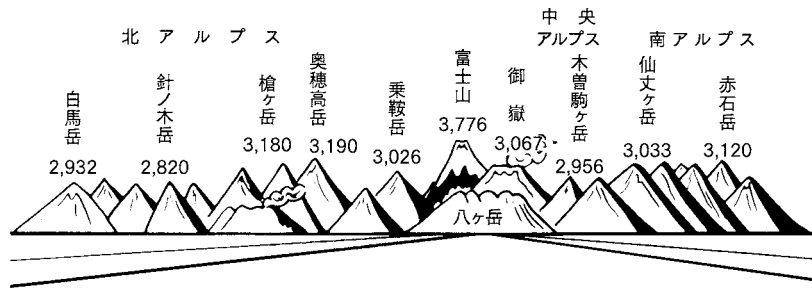


第 71 号

令和4年12月



砂防ニュースレター「長野」



平川流路工完成記念碑「はじめに砂防ありき」：長野県白馬村

目 次

・第84回通常総会開催	2・3	・着任のあいさつ	
・功労者表彰	2	利根川水系砂防事務所長	7
・砂防講演会	3	湯沢砂防事務所長	8
・副会長退任のあいさつ（前白馬村長）	4	・令和4年に発生した土砂災害と対応について	9
・副会長就任のあいさつ（根羽村長）	4	・災害関連緊急地すべり対策事業の採択	10
・建設部長就任のあいさつ	5	・令和4年度に確認された効果事例	10
・令和4年4月建設部砂防課人事異動	5	・令和3年に発生した土砂災害の対策の 進捗状況について	11
・着任のあいさつ		・信州大学農学部要望活動	12
犀川砂防事務所長		・土尻川砂防事務所80周年記念と 改修工事完成内覧会	12
姫川砂防事務所長		・令和4年行事等経過・予定	12
土尻川砂防事務所長	6		

長野県治水砂防協会 第84回通常総会開催



令和4年8月30日長野県治水砂防協会第84回通常総会が、検温、手指消毒、換気、マスク着用等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、65名の会員の皆さまにご出席をいただき開催しました。

藤澤泰彦会長による開会の挨拶、功労者表彰に続き、来賓の若林健太衆議院議員、篠原孝衆議院議員、神津たけし衆議院議員、杉尾秀哉参議院議員、羽田次郎参議院議員、田中秀基国土交通省 砂防部 保全課 砂防施設評価分析官、大野宏之(一社)全国治水砂防協会理事長、堀内孝人長野県議会危機管理建設委員長、田中衛長野県建設部長からそれぞれ祝辞をいただきました。

議事では、令和3年度事業報告、歳入歳出決算、令和4年度事業計画、歳入歳出予算とも承認され、下川正剛村長の退任に伴い空席となっていた副会長に、根羽村 大久保憲一村長を選任することについても承認されました。

功労者表彰

砂防事業の推進に永年に亘りご尽力された砂防功労者及び当協会並びに各支部の業務、運営に永年勤続された方に対し表彰を行いました。

加藤久雄様、高橋千代子様2名にご出席いただき、藤澤会長より賞状、記念品の授与を行いました。

砂防功労者表彰

宮澤 宗弘 様 高野 忠房 様
関川 芳男 様 加藤 久雄 様

永年勤続表彰

依田 君枝 様 高橋 千代子 様



前列中央向かって左から
加藤久雄様、高橋千代子様



若林 健太
衆議院議員



篠原 孝
衆議院議員



神津 たけし
衆議院議員



杉尾 秀哉
参議院議員



羽田 次郎
参議院議員



田中 秀基
砂防施設評価分析官



大野 宏之
全国治水砂防協会理事長



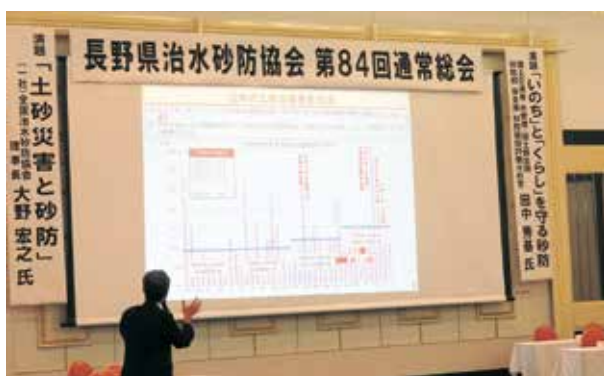
堀内 孝人
危機管理建設委員長



田中 衛
長野県建設部長

砂防講演会

総会終了後、国土交通省 砂防部 保全課 田中秀基砂防施設評価分析官による『「いのち」と「暮らし」を守る砂防』、全国治水砂防協会大野宏之理事長による『土砂災害と砂防』と題した御講演をいただきました。



田中砂防施設評価分析官御講演の様子



大野理事長御講演の様子

副会長退任のあいさつ

前白馬村長 下川 正剛



私から遡ること4代前の白馬村長、横沢裕氏が残した「はじめに砂防ありき」の言葉は、平川源太郎砂防堰堤脇に設置された石碑に刻されています。かつて一雨降るごとに大きな災害に見舞われてきた本村は、砂防事業の進展と並行し、観光立村として村勢発展の礎を築いてまいりました。その砂防事業に対する軌跡と感謝の思いがこの言葉に込められています。

私自身、村長就任直後に神城断層地震という大災害に遭い、多くの日にちと費用を復旧・復興事業に費やしてきた経験から、まず防災基盤を整えることが地域づくりの根幹であることを、身をもって感じました。

そういった点からも、急峻な山々や急流河川、活火山、断層帯等多くの災害リスクを抱える長野県にとって、治水砂防事業を通じた防災対策を継続的に行っていくことは必要不可欠です。今後も引き続き協会活動を通じ、安心・安全な県土づくりに邁進されますことを心より願っております。

私事で恐縮ですが、8月6日に村長職を退任し、併任しておりました長野県治水砂防協会副会長の職も退任させていただくこととなりました。藤澤会長はじめ長野県砂防課の皆様、会員自治体の皆様のご支援とご協力に対し、改めて感謝を申し上げます。

合わせて、長野県治水砂防協会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

副会長就任のあいさつ

根羽村長 大久保 憲一



このたび長野県治水砂防協会副会長を仰せつかりました根羽村長の大久保憲一です。微力ではありますが、当協会の発展のために努力してまいりたいと思いますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、近年は線状降水帯などによる短時間での集中豪雨や、台風の大型化、地球温暖化に伴う気候変動の影響等によって、各地で自然災害が激甚化かつ頻発化しています。こうした災害から住民の皆さんの生命や財産を守るために、ハード・ソフト両面での整備が急務とされています。流域全体で取り組む「流域治水」の考え方をしっかりと浸透させて、事前にできる限りの防除対策を講じておくことが必要であると思います。「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」の強力な推進や予算確保に向けて、皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思いますのでよろしく申し上げます。

建設部長就任のあいさつ



長野県建設部

部長 田中 衛

4月に建設部長に就任いたしました田中 衛です。どうぞよろしくお願
いいたします。

長野県治水砂防協会会員の皆様方には、日頃から県政全般、とりわけ砂
防行政に対し、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに対し、厚く
お礼を申し上げます。

さて、本県では、令和元年東日本台風以降、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨など、毎年の
ように土砂災害が発生しており、全国的に見ても災害が激甚化・頻発化している状況にあります。

こうした中、これまでに設置された砂防施設が、土砂の流出を捕捉し、被害を最小限に食い
止めた事例が多く確認されるなど、砂防事業の重要性があらためて認識されております。

今後も、砂防施設を計画的に整備し、災害の激甚化、頻発化に対応していくことが一層求め
られることから、「防災・減災、国土強靱化5か年加速化予算」を積極的に活用するととも
に、「流域治水」の考え方のもと、ハード・ソフト両面から、県民の「いのちとくらしを守る
土砂災害対策」を強力に推進してまいります。

急峻な地形と脆弱な地質で構成される本県においては、砂防事業の推進が何より重要である
と考えておりますので、砂防課はもとより、建設部一丸となって、国、市町村、地元の皆様と
連携しながら取り組んでまいります。

会員の皆様方には引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶と
いたします。

令和4年4月建設部 砂防課 人事異動

◎転入

企画幹兼地すべり係長へ

柳 澤 豊 茂 (上田建設事務所)

課長補佐兼総務係長へ

水 野 宗 雄 (企画振興部市町村課)

課長補佐兼砂防係長へ

細 川 盛 樹 (建設部建設政策課)

調査管理係担当係長へ

山 田 晃 (東京事務所(国土交通省))

地すべり係へ

佐 藤 知 闔 社 (飯田建設事務所)

調査管理係へ

丸 山 彩 香 (北信建設事務所)

調査管理係へ

田 中 佳 樹 (長野地域振興局(千曲市))

砂防係へ

柴 田 俊 (姫川砂防事務所)

◎転出

犀川砂防事務所長へ

青 木 能 健 (企画幹兼地すべり係長)

伊那保健福祉事務所福祉課長へ

井 出 毅 (課長補佐兼総務係長)

伊那建設事務所整備課長へ

矢 口 泰 秀 (課長補佐兼砂防係長)

松本建設事務所整備課担当係長へ

河 野 義 隆 (調査管理係担当係長)

建設部道路建設課へ

小 松 美 緒 (砂防係)

大町建設事務所整備・建築課へ

諏 訪 有 祐 (地すべり係)

松本建設事務所整備課へ

夏 目 明 歩 (調査管理係)

着任のあいさつ



犀川砂防事務所

所長 青木 能健

令和3年度は砂防課で企画幹としてお世話になり、本年度4月に犀川砂防事務所長に着任しました青木能健です。どうぞよろしくお願いたします。

当所管内はフォッサマグナ地帯の西縁部にあり、古くから地滑り等が多く発生し土砂災害対策を実施してきました。事務所が設置されて今年で83年。庁舎は現在の場所へ移転されてから60年近くが経過し、老朽化や耐震性に問題を抱えていました。

このため要望を重ね、ようやく耐震改修及び一部建て替え工事が年内契約となりました。完成は令和6年12月予定で、工事完成後は大規模地震発生後も災害からの復旧・復興の拠点として業務の継続が可能になります。

今後とも地域の安全・安心確保のため、地域の皆様と連携して土砂災害対策の推進に取り組んでまいります。



姫川砂防事務所

所長 江守 護

この4月に姫川砂防事務所長に着任しました江守護です。どうぞよろしくお願いたします。

当所では、全国的にも、激甚化・頻発化している近年の土砂災害の傾向を踏まえ、ハード対策の強化・推進として、砂防堰堤や地すべり防止施設等の整備を計画的に進めるとともに、ソフト対策として、地区防災マップ作成への支援や小学生を対象とした防災学習等、地域防災力の強化のための取り組みも進めているところです。引き続き、ハード対策とソフト対策が一体となった「いのちとくらしを守る土砂災害対策」を強力かつ計画的に推進してまいります。

今年は当所が開設されて80年の節目の年を迎えます。幾度も閉所の声があがりながら、この地域における砂防事業の必要性や存続を願う地元からの声により、現在に至っていることに地域の皆様の期待の大きさを感じております。

地域の皆様にとって「頼りになる砂防事務所」を目指して、職員一丸となって安全・安心の地域づくりを進めてまいります。

今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。



土尻川砂防事務所

所長 倉田 雅史

土尻川砂防事務所は昭和17年に開所し今年で80周年を迎えました。その節目の年に50代目の所長として就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

当所管内はフォッサマグナの北部にあたり、地質は脆弱で、県下でも土砂災害が多く発生し、特に地すべり災害の多いところで知られています。

昨年7月には長野市篠ノ井小松原地籍で大規模な地すべりが発生し、国道19号が片側交互通行となるなど、地域に大きな影響を及ぼしました。昨年度から進めている水抜き工、排土工を早急に完成させ、最後の対策工である鋼管杭工につきましても早期に完成させるべく取り組んでまいります。

今後とも当所の砂防事業にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

着任のあいさつ

国土交通省 関東地方整備局 利根川水系砂防事務所
所長 大坂 剛



令和4年4月1日付けで利根川水系砂防事務所長として着任しました大坂剛と申します。浅間山の噴火活動に伴う火山泥流、土石流等対策として直轄火山砂防事業を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

浅間山は全国の活火山においても活動が活発な火山の1つであり、それに伴い、1901年より火山監視を継続している火山となります。一方、浅間山山麓は、その豊かな自然景観から住宅、別荘地、あるいは観光スポットが立地するとともに、国道18号、上信越自動車道、北陸新幹線などの重要な交通インフラが集積するエリアでもあります。

浅間山の火山対策を実施していく上で、私としては三点ほどポイントがあると考えますので、下記したいと思います。

一点目は、火山灰の降灰厚を迅速かつ正確に測定することが必要です。火山灰が堆積した山麓斜面は降雨により目詰まりを起こし土石流等が発生しやすくなると言われております。このため、火砕流や噴石等のリスクを回避しながら測定作業を行わなければなりません。有人作業には安全管理の観点から限界があります。このため、国土交通省「河川砂防技術研究開発公募」というスキームを活用し、「ロボットを活用した降灰厚測定手法の開発」を産官学連携して行っているところです。

二点目は、無人化施工の取組です。浅間山山麓には直轄火山砂防事業により多くの監視カメラを設置しており、その画像伝送のための光ケーブルは、JR山手線のように浅間山周囲にループして設置されております。この光ケーブルの空き容量を活用して、浅間山の様々な場所において地元の建設業者の皆様を対象として無人化施工講習会を実施させていただいております。特に昨年からは、工事現場から数km離れた箇所から操作して作業を行う、いわば遠隔無人化施工に講習会として取り組んでいるところです。これらの取組によって、火山噴火時における作業員の安全を確保しつつ、応急的、緊急的な作業を実施することができるのではないかと考えております。

三点目は、警戒避難対策との連携です。当事務所が設置する砂防えん堤等の寸法は、前に記した長年の火山観測記録のうち、最大規模の火砕流を対象に概ね設計されております。しかしながら、今後、その火砕流を超える規模の火砕流が発生しないとは限りません。このような状況が切迫する場合において、避難行動をいかに迅速かつ的確に行うか、という点について日頃より考えておかなければなりません。従って、私どもが実施する火山砂防事業と、市町村、県の火山防災とりわけ避難計画等を一緒に、住民等の皆様にわかりやすく丁寧にご説明していくことが求められるのではないかと考えているところです。

以上の方針に基づき、本地域の安全と安心の確保のために全力を挙げて取り組む所存ですので、長野県治水砂防協会会員各位のご理解とご協力を節にお願い申し上げます。

着任のあいさつ

国土交通省 北陸地方整備局 湯沢砂防事務所

所長 松本 直樹



令和4年4月1日付けで、北陸地方整備局湯沢砂防事務所長に着任しております松本直樹と申します。私は、平成21～22年度にかけて、姫川砂防事務所でお世話になり、それ以来の長野県内での勤務となります。よろしくをお願いいたします。

湯沢砂防事務所は、新潟県南魚沼郡湯沢町に位置し、信濃川の支流の魚野川、清津川、中津川流域を担当しています。長野県内では、中津川流域の栄村、木島平村、山ノ内町が位置しており、現在は栄村で砂防堰堤や溪流保全工を建設する事業を実施しています。管内には、上信越高原国立公園等があり、四季の変化に富んだ自然豊かで美しい地域です。また、上越新幹線や関越自動車道が通り、多数のスキー場や温泉など日本有数のリゾート地域です。一方、上流の山々は非常に急な地形ともろい地質からなり、崩れやすく、土砂の生産や流出が激しい地域です。

着任直後の令和4年5月9日（月）には、栄村切明地区において、崩壊土量約20万m³の斜面崩壊が確認されました。現地調査や監視機器の設置等を実施し、5月23日（月）には、栄村や下流に位置する新潟県津南町や十日町市、長野県北信建設事務所等関係機関に加え、専門家（国土技術政策総合研究所）と中津川（切明地区）斜面崩壊対応調整会議を開催し、斜面崩壊の状況や監視体制、情報伝達などの危機管理体制等を議論しました。その結果、当面の間は監視を継続し、変状が確認された場合には、住民の皆様が速やかに避難行動をとることができるように、関係機関と連絡体制を確立し対応することになりました。降雨期を過ぎましたが、現在まで大きな変状等の確認はされていませんが、降雪及び融雪期も引き続き監視を続けて参ります。

地域をこのような土砂災害から守り、魅力ある地域づくりを支援することが当事務所の役割です。砂防堰堤や溪流保全工の建設等ハード対策に加え、避難確保計画や地区防災計画の作成のためのお手伝いや防災訓練や防災教育の実施等のソフト対策も取り組んで参ります。今後、気候変動等による自然災害の頻発化・激甚化が懸念されておりますが、地域の皆様の「いのち」と「くらし」を守る砂防事業を、会員の皆様と力を合わせしっかりと取り組んで参りたいと考えております。引き続き、ご指導、ご鞭撻をお願い致します。



昭和23年頃の魚野川上流域の様子



現在の様子

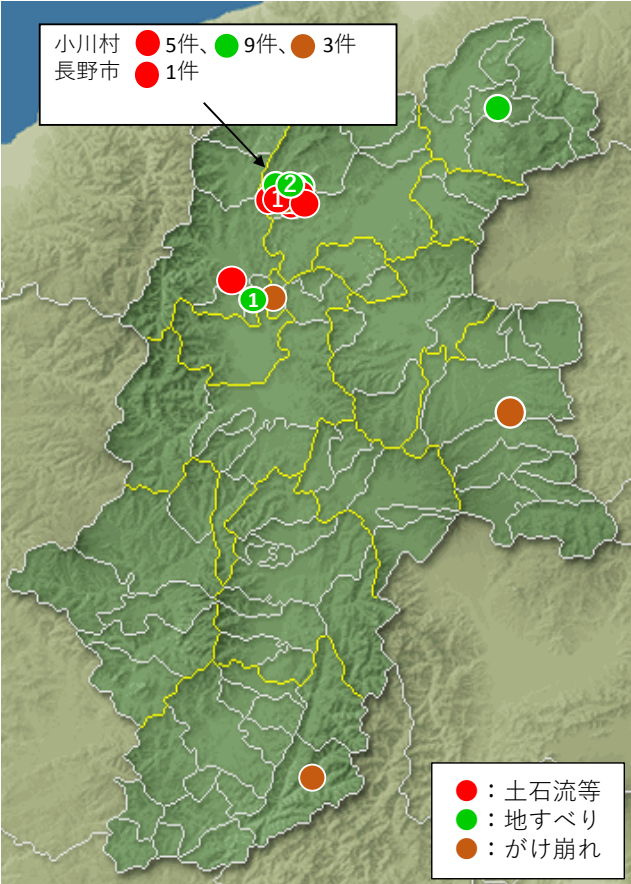
令和4年に発生した土砂災害と対応について

□災害の発生状況

土砂災害発生件数
(令和4年9月5日時点)
24件

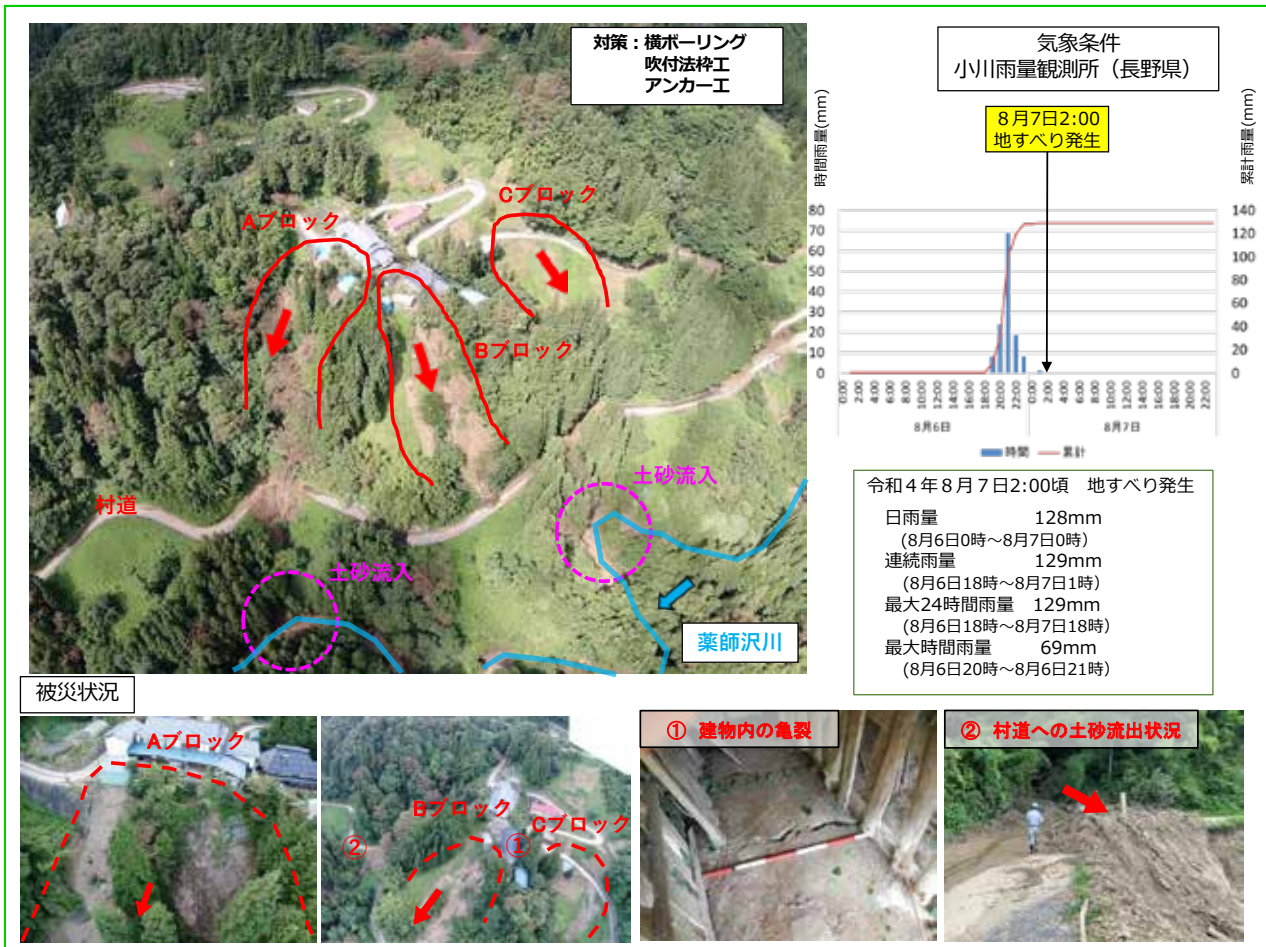
土石流等： 7件
 地すべり： 11件
 がけ崩れ： 6件

【被害状況】
 人的被害：なし
 住家被害：一部損壊4件、床上浸水1件
 非住家被害：3件



災害関連緊急地すべり対策事業の採択 にこりさわ さみね ～濁沢 小川村 佐峰～

令和4年8月6日からの大雨に伴う地すべりにより甚大な災害が発生。二次災害を防止するため、地すべり対策事業を緊急的に実施。



令和4年度に確認された効果事例

令和4年8月6日からの大雨に伴う土石流及び流木を砂防堰堤が捕捉し、下流域への被害を未然に防止。

薬師沢2号砂防堰堤 小川村 稲丘 いなおか



令和3年に発生した土砂災害の対策の進捗状況について

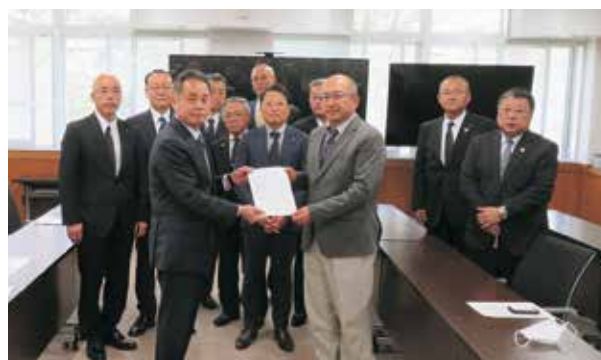
□ 災害関連緊急砂防等事業の進捗状況

番号	溪流名・地区名	市町村名	箇所名	主な対策工	事務所	工事の進捗状況
砂防 4箇所						
①	おおくぼ 大久保	岡谷市	かわぎしひがし 川岸東	砂防堰堤工 2基	諏訪	仮設堰堤完成、工事用道路施工中
②	おおさわがわ 大沢川	辰野町	おの 小野	堆積工	伊那	準備工施工中
③	みずさわがわ 水沢川	松本市	かみがいと 上海渡	砂防堰堤工	松本	本堤工施工中
④	げばさわがわ 下馬沢川	茅野市	たかべ 高部	砂防堰堤工	諏訪	準備工施工中
地すべり 1箇所						
⑤	こまつばら 小松原	長野市	こまつばら 小松原	集水井、排水パイプ、鋼管杭、排土工	土尻川	排土工・鋼管杭工施工中
急傾斜 3箇所						
⑥	きたざわ 北沢	佐久市	ときわ 常和	法面対策工	佐久	準備工施工中
⑦	しもおち 下落	大桑村	との 殿	法面対策工	木曾	法面対策工施工中
⑧	じょう 城	塩尻市	ならい 奈良井	法面対策工	松本	法面対策工施工中



信州大学農学部要望活動

令和4年4月28日、藤澤会長以下、会員市町村長10名により、土砂災害をはじめとする流域治水に関する教育体制の充実、知識・経験の豊富な学識者の確保並びに将来の流域治水の担い手となる学生のさらなる育成の推進等について、信州大学農学部の米倉真一学部長に対し要望を行いました。



米倉農学部長に要望書を手渡す

土尻川砂防事務所80周年記念と改修工事完成内覧会



記念撮影

令和4年7月27日、長野県議会議員、管内市町村長、地元区長、犀峽会長、薬師沢砂防総代等のご臨席のもとで、80周年記念と改修工事完成内覧会が開催されました。式典では、工事の概要説明、80周年記念メモリアルボードの除幕式を行い、式典終了後には、完成した事務所内の見学が行われました。



80周年記念メモリアルボード

長野県治水砂防協会 令和4年度行事等 経過と予定

10月27日(木) ～28日(金)	第9回砂防現地視察と討論会	視察先：宮城県 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
10月11日(火) ～12日(水)	北陸信越地区支部長・参与会議	開催地：長野県白馬村
11月15日(火)	全国治水砂防促進大会	東京都：シェーンバッハ・サボー利根
〃	長野県治水砂防協会要望活動	東京都：衆・参議員会館、国土交通省
〃	長野県治水砂防協会意見交換会	東京都：全国町村会館2階A・Bホール
令和5年 2月17日(金)	砂防および地すべり防止講習会	東京都：シェーンバッハ・サボー利根
5月25日(木)	第87回全国治水砂防協会通常総会	東京都：シェーンバッハ・サボー利根

●第71号 編集・発行 長野県治水砂防協会 事務局 〒380-8570 長野市大字南長野幅下692-2 長野県庁砂防課内
TEL：026(232)0144 FAX：026(233)4029 E-mail：n-sabo@sky.plala.or.jp